



2024-25年度 国際ロータリーのテーマ

HIROSHIMA KUKO Rotary Club Weekly-Report

会長 小島 勘次 副会長 岡田 雄幸 幹事 兼田 昌紀 SAA 松下 知美

広島空港ロータリークラブ
2024-25 2025年3月12日発行

事務局 三原市本郷南6丁目3-26 三原臨空商工会2F
TEL 0848-86-0986 FAX 0848-86-0992
E-mail h.kukorc@vega.ocn.ne.jp
例会場 広島エアポートホテル(TEL 0848-60-8111)

2710地区 上田文雄ガバナー 信条
行動しよう、未来のために。=変革に取り組もう=

本日のプログラム(3月12日)

大下 知男会員
「健康寿命を延ばす家」

次回のプログラム(3月26日)

七川 雅仁会員

第1328回 2025年3月5日 例会記録

点 鐘 小島会長
ロータリーソング「四つのテスト」

出席報告

	会員数 シニア会員	出席者	メイク	欠席 (免除)	出席率
本日 (3/5)	30 2	19	2	6 3	77.78
メイク	鶴田秀樹・松下				

食事時間



- ・先付け 蟹入り出し巻
- ・造り 鯛のお造り
あしらい
- ・蓋物 鯖みぞれ煮
付野菜
- ・御飯 白御飯
香の物 一色
汁物 赤出し

会長ひと言



皆様、こんにちは。

お忙しい中、例会にご参加いただき、誠にありがとうございます。会長の小島でございます。

2025年に入り、私たちの周囲では、国内外の課題がより具体的な形で浮かび上がっております。国内では、国会で「年収の壁」と称される制度が議論されています。一定以上の収入に伴い急激に増える社会保険料の負担は、若い世代や中小企業にとって大きな障害となっており、これが働き方や地域経済の活性化に深刻な影響を及ぼしています。政府や自治体は、こうした現実に対応すべく、働き方改革やデジタルトランスフォーメーション、さらにはテレワークの普及といった新たな施策の推進に力を入れています。

一方、国際情勢では、トランプ大統領とゼレンスキー大統領との会談が示すように、各国のリーダーは対話を通じて互いの立場を調整し、問題解決の道を探っています。また、ウクライナ戦争

の今後については、戦局の先行きが依然として不透明な中、和平への道筋が模索される一方で、国際社会全体の安全保障や経済構造にも大きな影響を与えています。

こうした国内外の現実、私たちロータリアンにとって大きなヒントとなっています。私たちは、地域の課題解決に向けた現場の取り組みと、国際情勢から学ぶ対話や連携の姿勢を通じ、未来への新たな一歩を確実に踏み出す責任があります。皆様の豊かな知見と情熱が、これらの問題に対する具体的な解決策となり、より良い未来へとつながると信じております。

ありがとうございました。

幹事報告



【回覧】

- ・3月の例会出欠表
- ・ゴルフ同好会 ゴルフコンペの参加申込み
- ・4/20 沼田川クリーンキャンペーン出欠確認 (※本日〆切)
- ・ロータリーの友 3月号

卓話時間

「RLIパートI報告」



川本 吉則会員

RLIパートIを終えて思う事

高校卒業以来、40年ぶりの6時限授業のようで大変疲れました。

また、研修に使う言葉が、普段使い慣れない難しい言葉が多く、理解しながら積極的に参加する事が難しかったです。

与えられた時間に対して、学びの量が多すぎて皆きちんと理解されているのか、私だけが理解できないのか、不安を持ちながらの研修会に終わってしまいました。

特にロータリー財団あたりになるとなるべく講師の方と、目が合わない様に…

とは言え、せっかくの研修会ですので居眠り等する事無く1日を終えることができました。

組織のリーダーである我々がより良い考え方や行動を実行する事により、社会に対してより良い影響を与える事ができる。

そんな当たり前の事をより一層強く感じる研修会でした。

R L I とは？

The Rotary Leadership Institute

(ロータリー リーダーシップ 研究会)

目的

RLIの理念に従ってリーダーシップの学びを通じ、ロータリーの活性化と発展を願い、ロータリアンのロータリーへの理解とモチベーションを高める事

概要

アメリカでは2008年よりスタートし日本においては2011年に開始され今日に至っている。世界では400以上の地区において参加されており日本でも80%以上の地区が参加している。

個人別タイムスケジュール

広島空港ロータリークラブ 川本 吉則 様

あなたのセッションの順路は下記の通りとなります。

C ⇒ B ⇒ A ⇒ F ⇒ E ⇒ D

時間	セッション	
	ルーム No	ファシリテーター
予定・進行説明	10:00-10:10	1 時限目の部屋で説明を受けてください
1 時限目	10:10-11:00	C 403 号室 住田 紀照香、諏訪 昭浩、橋本 康弘、藤井 行夫
2 時限目	11:05-11:55	B 402 号室 川妻 利絵、麻清 正一、三浦 靖彦
昼食	45 分	2 時限目の部屋で昼食になります
3 時限目	12:40-13:30	A 401 号室 小西 直人、小根森直子、中村 義行
4 時限目	13:35-14:25	F 402 号室 秋田 京子、伊藤 弘幸、坂井 幸栄
休憩	10 分	
5 時限目	14:35-15:25	E 402 号室 熊谷 宏、金子 淳子、中根 洋一、原田 和彦
6 時限目	15:30-16:20	D 405 号室 小林 亨、中間 幸子
休憩	10 分	(この休憩の間に、地下1階へ移動してください)
全体会議	16:30-17:00	地下1階 国際文化ホール

- ① タイムスケジュールはお一人ずつ異なりますので、移動についてご確認ください。
- ② 参加評価書式は、各分科会終了時にご記入いただき、全体会議の会場入口で回収いたします。
- ③ 2 時限目を受講された部屋で昼食になります。
- ④ 参加者は、全体会議では自由席となっております。前から詰めてご着席をお願い致します。

知って納得？

ロータリアンの3大義務

- ① 例会の出席
- ② 会費の支払い
- ③ ロータリアンの友の購読

ロータリーの中核的価値観

奉仕	Service
親睦	Fellowship
多様性	Diversity
高潔性	Integrity
リーダーシップ	Leadership

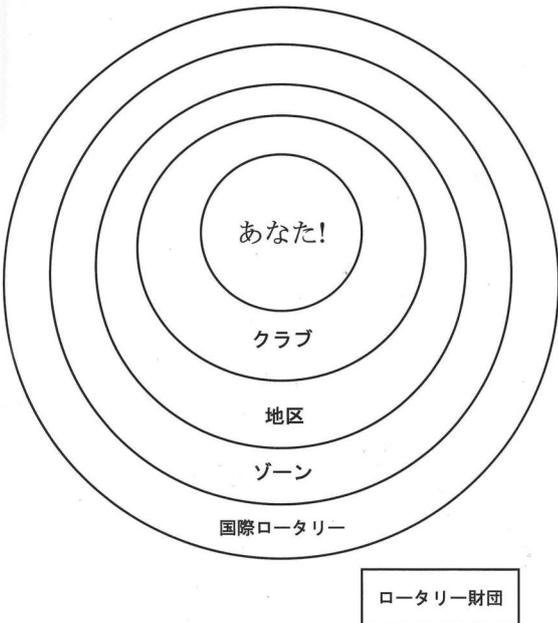
ロータリーの組織構造

会員	1,171,376
クラブ	36,691
地区	515
ゾーン	34

ロータリー財団

総支出	3億4350万ドル
ポリオプラス	1億5700万ドル
グローバル補助金	5900万ドル
地区補助金	2600万ドル
災害救援補助金	1500万ドル
その他	8650万ドル

セッション2 資料2 ロータリーの組織構造



セッション3 資料1: ロータリーの指導原則

ロータリーの目的 (The Object of Rotary)	ロータリーの行動規範 (Rotarian Code of Conduct)
<p>ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：</p> <p>第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること</p> <p>第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする</p> <p>第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること</p> <p>第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること</p> <p>「ロータリーの目的」の4つの項目は、等しく重要な意味を持ち、また同時に行動を起こさなければならぬものであるという点で、RI理事会の意見が一致した。</p> <p>四つのテスト (The Four-Way Test) ロータリーの初期のころから、ロータリアンは彼らが生活の糧としている職業における高い倫理的基準に引き上げることに関心を持ってきました。世界で最も広く印刷され、引用される職業倫理の声明のひとつに四つのテストがあります。それは1932年にロータリアンである、Herbert J Taylor (後のRI会長) が同僚の危機に直面していた会社を任せられたときに、彼によって起草されたものです。実業生活や専門職生活の中で雇用者が実践すべき、この24の単語からなる四つのテストは、販売や顧客との関係において指導書となりました。そして企業の生き残りにこの簡単な哲学に帰ると言うことになりました。四つのテストは1943年ロータリーによって採用され、百以上の言語に翻訳され、色々な形で出版されています。それは次のような四つ質問を尋ねています。</p> <p>言行はこれに照らしてから 1) 真実かどうか 2) みんなに公平か 3) 好意と友情を深めるか 4) みんなのためになるかどうか</p> <p>原文：The Four-Way Test Of the things we think, say or do: 1. Is it the TRUTH? 2. Is it FAIR to all concerned? 3. Will it build GOODWILL and BETTER FRIENDSHIPS? 4. Will it be BENEFICIAL to all concerned?</p>	<p>ロータリアンの行動規範 (Rotarian Code of Conduct) には以下のことが求められる：</p> <p>1) 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。</p> <p>2) 職業に公平に接し、敬業をもって接すること。これには、他者を尊重する言葉を使う、サポートを示す、温かく迎え入れるインクルーシブな環境を助長する、多様性を重んじるという「ロータリーの多様性・公平さ・インクルージョン (DEI) の行動規範」を遵守することが含まれる。</p> <p>3) ロータリーを通じて自分の職業スキルを生かし、地域社会や世界のほかの地域の人びとの生活を質を高める。</p> <p>4) ロータリーやほかのロータリー会員の評判を毀すような言動は避ける。</p> <p>5) ロータリー関連行事では、すべての行動規範に従う。</p> <p>五大奉仕 (The five Avenues of Service) ロータリーの五大奉仕部門は、本ロータリークラブの活動の哲学的および実務的な根拠である。</p> <p>1. 奉仕の第一部門であるクラブ奉仕は、本クラブの機能を充実させるために、クラブ内で会員が取ることができる行動に関わるものである。</p> <p>2. 奉仕の第二部門である職業奉仕は、事業および専門職務の道徳的基準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理念を実践していくという目的を持つものである。会員の役割には、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行うこと、そして自己の職業上の手動を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれる。</p> <p>3. 奉仕の第三部門である社会奉仕は、地域社会における積極的平和を目指すことにより、クラブの所在地域または行政区画内に居住する人々の生活を質を高めるために、時には他と協力しながら、会員が行うさまざまな取り組みから成るものである。</p> <p>4. 奉仕の第四部門である国際奉仕は、書物などを読むことや通信を通じて、さらには、他国の人々を助けることを目的としたクラブのあらゆる活動やプロジェクトに協力することを通じて、他国の人々とその文化や慣習、功績、願い、問題に対する認識を育むことにより、国際理解、親善、積極的平和を推進するために、会員が行う活動から成るものである。</p> <p>5. 奉仕の第五部門である青少年奉仕は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、積極的世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化がもたらされることを認識するものである。</p>